独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立那須甲子青少年自然の家

令和８年度教育事業報告書

事業名	Growing Together in なすかし　～なすかしの森　秋のデイキャンプ～
期日	令和８年 10 月 31 日(土)
会場	国立那須甲子青少年自然の家
対象	児童養護施設を利用する幼児、小学生、中学生、高校生、職員
参加者数	32 名（幼児１名、小学生 15 名、中学生４名、高校生２名、職員 10 名）
趣旨	多様な背景を有する児童養護施設を利用する子供を主な対象に、自然体験活動の機会を提供することにより、子供たちの間に存在する体験格差の是正を図るとともに、自然を愛する心情を養う。また、他者との協働やコミュニケーションを行い、社会性や協調性の育成を目指すとともに、自らの役割をやり遂げることで、責任感や自主性の成長を促す。

事業内容及び成果と課題

日帰りの中で様々な体験ができるように「ピザ・焼きそば作り」、「選択活動（パノラマハイキング、ネイチャークラフト)」、「テント設営体験・森遊び」の活動を行った。

アンケートでは、事業全体について「満足」と回答した参加者が 87%であり、未回答は 13%であった。活動ごとのアンケートでは、「ピザ・焼きそば作り」の満足度が 96%、「選択活動（パノラマハイキング、ネイチャークラフト)」の満足度がいずれも 100%と特に高かった。このことから、本事業の趣旨である「子供たちの間に存在する体験格差の是正を図るとともに、自然を愛する心情を養う。」の達成に寄与することができたと考える。

一方、当日は気温が 10℃前後、最大風速が 9m/s であったため、体感温度が低い状況となった。「自然をよいものだと感じることができた。」と回答した参加者は 48%にとどまった。「自然は寒い」、「暖かいところで料理をしたい」などの自由記述も多く、今後は、防寒対策の強化や実施時期の見直しを検討する必要がある。また、「チームの中で自分の役割を果たすことができた」と回答した参加者も 48%にとどまり、責任感や自主性の育成という観点では課題が見られた。活動時間の制約により、役割分担の説明や振り返りの時間を十分に確保できなかったことが要因として考えられる。今後は、活動ごとの役割分担を明確にするなど、参加者一人一人が主体的に活動へ関わることができるプログラム運営について検討する必要がある。

事業の様子


パノラマハイキング


火起こし


ネイチャークラフト


ピザ作り


ピザ焼き


森遊び